

別紙1 様式A

令和2年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

中之島幼稚園

教育目標 心身ともに健康で、楽しく遊ぶ子供を育てる

評価：A良好、B概ね良好、C要改善

ゆめ	重点目標	具体的取組		取組の状況	評価
魅力いっぱい元気な幼稚園	自分の思いを伸び伸びと表現しながら、主体的に遊ぶ子供を育てよう	心豊かな子供・たくましく主体的に活動ができる子供・自分の思いを伸び伸びと表現できる子供	豊かな体験活動	毎日9時から10時半まで、園全体で自分の好きな場所で、好きな友達としっかりと遊べる時間を確保することができた。(園児全員が集まる集会活動は、すべてなくした。)	B
			自然環境の充実	多くの花や夏野菜をフェンス沿いに植えたり、畑に大根・サツマイモ等も育て、子供がより自然と友達となる活動が生まれやすい遊び環境づくりができた。	A
			園舎内外の環境の見直しと充実	毎日うちどく絵本を借りられるようにしたり、砂場の砂を4t増やしたり、フェンス沿いに夏野菜や3m近い背の高さになるヒマワリを植えたり、より豊かな環境を目指せた。	A
			友達との関わり	毎日、9時から10時半までの自由遊びを取り入れることで、学年同士だけでなく、学年を超えた子供たちの交流ができ人間関係が広がった。	A
			小学校との交流	コロナ禍ということで、予定した子供同士の交流をすべて中止した。教師の交流として、1年担任と年長担任の話し合いの会は行うことができた。	C
			生活習慣の確立	コロナ禍という事もあり、手洗いの徹底、マスク着用・うがい指導等、園全体でしっかりと取り組むことができた。	B
			食育の推進	子供たちが育てた大根で味噌汁を作ったり、ブロッコリーを給食に添えたり、サツマイモをホットプレートで焼いてみんなでいただいたり、育て食する活動ができた。	B
					B

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

「子供の思いを取り入れた遊びを大切に、主体的に活動する子を育てる努力をしている(96%)」と、今年度の幼稚園の目指すところを理解して頂けているのありがたい。「子供は毎日楽しそうに園に通っている(95%)」、また、「子供の様子は毎日のホームページでよく伝わっている(86%)」が、「情報共有し、連携ができています」と思わない保護者が26%いる。今後、いかに『保護者との連携』をしていくのが課題である。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

予期しなかったコロナ禍の中ではあるが、安全で安心できる幼稚園環境をつくるために、職員一丸となり、子供の豊かな活動を保証し、子供にとっての遊び環境の充実を目指し取り組めた。また、保護者アンケート結果を受けて、さっそく月一回の「相談メール」、月曜日を「相談曜日」とする取組を入れ、連携を図るようにした。今後も、園の取組をより一層丁寧に保護者に伝え、保護者との連携の中で、幼稚園教育をすすめることが大事なことでと考えている。

学校関係者評価委員による自己評価の検証

「小さな子供でも、コロナの現状を理解し、マスクや手洗いを徹底している姿に感心しました。『遊びが学び』となるように、遊びが、好奇心・意欲・協力等、いろいろな学びにつながるように、工夫していることが分かった。保護者アンケートをきちんと精査し、いち早く改善に取り組む姿勢が素晴らしい。」等の感想を頂きました。教育は、信頼の上に立ちできることです。素晴らしい中之島幼稚園教育のさらなる推進のために、一層の努力をしていきたいと思えます。